

「納税環境整備についての懇談会」の開催状況

政府税調の自由討議において数名の委員から、「納税者の立場に立った議論が必要」との意見が出され、今後の検討の参考とするため、委員数名による非公開の懇談会をこれまで4回開催してきた。その概要をご紹介しますと次のとおりである。

《メンバー》香西会長、神野会長代理、辻山委員、秋山委員、江上委員、江川委員、翁委員、上月委員、水野委員、吉村委員（10名）

第1回 平成19年6月14日

- 納税環境整備全般（国税・地方税）
- 税務行政の現状

納税者の信頼確保に向けて行ってきた主な施策、納税者番号制度、主な罰則の概要、税務行政を取り巻く環境の変化、税務調査の現状と課題、納税者利便の向上策、税務行政の透明性確保、税理士制度等について説明を受け、自由討議を行った。

第2回 平成19年7月4日

- 納税者利便の向上（国税・地方税）
- 罰則・脱税事件の現状

国税の納税者利便向上策（e-Tax等）、地方税の納税者利便向上策（eLTAX等）、罰則の概要等、脱税事件の概要等について説明を受け、自由討議を行った。

第3回 平成19年7月12日

- 租税教育
- 税務行政に対する納税者意識

租税教育の基本的考え方、具体的な取組み、今後の課題、国税モニター制度の概要、税務行政に対する納税者意識に関する調査結果の概要等について説明を受け、自由討議を行った。

第4回 平成19年8月23日

- 納税者番号制度
- 社会保障カード（仮称）
- 住民基本台帳制度

納税者番号制度（概要、議論の推移、主要論点、付番制度の論点、資料情報制度）、社会保障カード（仮称）（社会保障カード構想、社会保障番号及び社会保障カードの導入に関する議論の経緯、社会保障番号に関する実務的な議論の整理）、住民基本台帳制度（制度の概要、住基ネットの仕組みと利用状況、住民票コードの利用制限、住基ネット関連訴訟の状況等）について説明を受け、自由討議を行った。